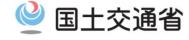
流域治水オフィシャルサポーター R6年度取り組み実績



認定番号:90 サポーター名:特定非営利活動法人ウェザーフロンティア東海

取組 実績

- ・東海市平洲地区愛知県河川課協働事業「みずから守るプログラム」への参画
- ・清須市災害ボランティアコーディネーター向け研修会の実施
- ・清須市土田地区愛知県河川課協働事業「みずから守るプログラム」への参画
- ・岐阜県地域防災リーダー養成講座で気象防災に係る講座に講師を派遣(可児市、御嵩町、土岐市・瑞浪市(合同)の3ヶ所の講座に講師を派遣)

愛知県河川課「みずから守るプログラム」 *和5年10月29日(日)

東海市平洲地区 第1回活動

木庭公民館

◎木庭地区周辺および大田川流域の地勢の成り立ち、水害の歴史、ハザードマップなどついて解説



・大田川流域の水害の歴史及び流域に発表された 洪水時予想浸水深。浸水維続時間、家屋倒壊等危 険区域について解説。この地域の災害地形の特徴 を学習し、想定される水害のリスクについてまち歩き行い浸水時を想定して避難行動について考える。 ・新旧地形図、地盤高図、大田川の流域の地形 の変遷、などを学習し、自分たちの住む町の水害 リスクを把握するとともに、想定される水害リスク を正しく認識する。また、想定かも予測して、浸水 リスクが現在小さいと思われる地区も、安心せず 災害への準備を怠らないようにする。

◎手作りハザードマップの作成について、記入事項の項目や注意点等を解説。その後班毎に分かれてまち歩きへ(地域の水害危険箇所・避難ルート、いざというときに逃げ込める一時避難場所などをチェック)



・町内を班分けし、身近な危険 箇所や、氾濫流の方向、水が 早くたまる場所、一時的な避難 場所をまち歩きで確認し地図 に記入する。

家族や班単位で、避難行動する場合の安全な避難ルートを確認し、地図に記入する。



◎ 班ごとに記入したチェック項目をA1大の白地図に、意見交換しながら記入する



まち歩きから帰った後、 各テーブルで地図上に チェックしてきたことを 記入し、付箋で注意点 や地域の課題、要望等 を書き加える ・積極的に意見を出し 合い検討して、要点を まとめて記入する。





◎ 各班の発表

・班ごとにまとめた結果を各 班の代表が地図を示しなが ら発表する。

・各班の地区の特徴を参加 者に説明し、意見交換しな がらより適切な避難行動は 何かにについて考える

